神戸新聞 （第3種郵便物認可）

パソコン技能競技 全国大会へ

多可高3年 大西心温さんと高崎優さん

情報処理1級取得し出場権「最大限の力発揮したい」

多可高校（多可町中区東山）普通科情報ビジネス類型の3年、大西心温（しおん）さん（18）＝多可町＝と、高崎優さん（17）＝西脇市＝が、7日に名古屋市で開かれる「第40回全国パソコン技能競技大会」の情報処理技能種目（表計算）に出場する。7月12日にコンピューターの活用能力を判定する「情報処理技能検定試験」の表計算で1級に合格し、出場権を獲得した。同校生徒の同大会出場は2年連続となる。（金井恒幸）

合格証書を手にする大西心温さん（右）と高崎優さん＝多可町役場

同大会は日本情報処理検定協会が主催。出題されたデータから表計算ソフトを使って制限時間20分以内に表を作成し、スピードや正確性を競う。

2人を含む同類型の3年生10人は、2年生の時から授業で試験勉強を開始。2人は昨年12月、2級に合格し、1級を目指して勉強に励んだという。

2人と学校関係者は多可町役場を表敬訪問し、吉田一四町長から「2年続けて全国大会出場というのは本当にすごい。おめでとうございます」などと激励の言葉を受けた。

1級合格を振り返り、大西さんは「ショートカットキーを使うなどしてタイピングの時間を減らし、見直す時間を増やしたのが良かった」と振り返り、高崎さんは「授業中に先生から教わった問題の解決方法を必死になって覚えた。そのことが合格につながった」と喜ぶ。

全国大会に向け、大西さんは「タイピングに苦手意識があるので、正確さを重視して頑張りたい」と抱負を語り、高崎さんは「自分の力を最大限に発揮したい。後悔のないように、自分なりに楽しみたい」と誓った。